

## 第1回大垣市教育振興基本方針推進委員会 会議録

日 時：平成22年7月14日（水）9時～11時  
場 所：大垣市市役所北庁舎分館1階 教育委員会室

出席者

[委員]

役職名	氏名
社会教育委員の会議長	平野 順一
岐阜大学教職大学院特任教授	松岡 博
大垣市小中学校長会会長	白鳥 正忠
大垣市青少年育成推進会会長	吉村 正弘
大垣市体育連盟生涯スポーツ振興委員会委員長	高橋 美和子
前大垣市文化連盟会長	田中 良幸
大垣市読書サークル協議会会長	矢橋 和江
市民公募	長瀬 ちえ子

[事務局]

役職名	氏名
大垣市教育長	内田 一之
大垣市教育委員会事務局長	北村 武久
大垣市教育委員会庶務課長	坂 喜美和
大垣市教育委員会学校教育課主任指導主事	尾形 佳隆
大垣市教育委員会社会教育スポーツ課長	大山 正行
大垣市教育委員会文化振興課長	三輪 寛
大垣市教育委員会図書館長	水上 春雄
大垣市教育委員会教育総合研究所長	奥田 修二
大垣市教育委員会南部・北部学校給食センター所長	高田 善基
大垣市教育委員会庶務課長補佐兼庶務係長	守屋 明彦
大垣市教育委員会庶務課主査	近藤 哲也

議事録

庶務課長	<p>皆さん、おはようございます。</p> <p>大変お忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。</p> <p>定刻となりましたので、只今から大垣市教育振興基本方針推進委員会を始めさせていただきます。</p> <p>進行を務めさせていただきます、庶務課長の坂でございます。よろしくお願いたします。</p> <p>ここで、一言お断りをさせていただきます。</p> <p>委員の皆様の方に委嘱状がございます。本来ですと教育長から交付させていただくところですが、時間の都合上、省略させていただきますので、</p>
------	--

	<p>よろしくお願いいたします。</p> <p>資料の確認をお願いいたします。第1回大垣市教育振興基本方針推進委員会次第、出席者名簿、設置要綱、資料ナンバー1から3、別紙青少年健全育成計画策定委員会次第でございます。資料の無い方はお申し出ください。</p> <p>それでは、初めに内田一之教育長がご挨拶申し上げます。</p> <p>皆様、本日は大変お忙しい中、「第1回大垣市教育振興基本方針推進委員会」にご出席いただき、誠にありがとうございます。この一年間どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>大垣市は昨年度、国や県の動向を踏まえながら、教育に関する基本的な目標を示し、大垣の地域性、独自性を持たせながら、今後10年先を見据えた大垣市教育のあるべき姿と教育行政を進めるための「大垣市教育振興基本方針」を策定いたしました。策定に際しまして、本日お集まりいただいた皆様には、策定委員としてご協力いただきまして、誠にありがとうございました。</p> <p>本年度は、この「大垣市教育振興基本方針」に基づきまして、学校教育、青少年、図書館、スポーツ、文化の5分野について振興計画を策定し、大垣市教育のよりよい方向に向け、全力を挙げて取り組んでまいります。</p> <p>どうか、委員の皆様には、いろいろなお立場からご意見をいただきながらよりよい振興計画にしていきたく存じます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
内田教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>本委員会は、昨年度に策定した大垣市教育振興基本方針に基づき、今年度策定する各振興計画の進捗状況の管理及び評価方法を検討するため設置するもので、委員は策定委員会とほぼ同じですが、学校教育分野で名和前委員の退職により、白鳥委員に替わっておりますので、ご報告させていただきます。それでは、白鳥委員から自己紹介をお願いいたします。</p>
庶務課長	<p>ありがとうございます。</p> <p>本委員会は、昨年度に策定した大垣市教育振興基本方針に基づき、今年度策定する各振興計画の進捗状況の管理及び評価方法を検討するため設置するもので、委員は策定委員会とほぼ同じですが、学校教育分野で名和前委員の退職により、白鳥委員に替わっておりますので、ご報告させていただきます。それでは、白鳥委員から自己紹介をお願いいたします。</p>
白鳥委員	<p>本年度小中校長会長をしております西中学校の白鳥でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
庶務課長	<p>次に、事務局職員を紹介させていただきます。</p> <p>(北村事務局長から順に紹介)</p> <p>はじめに、本委員会の設置要綱についてご説明申し上げます。</p> <p>(要綱の説明)</p> <p>それでは、「大垣市教育振興基本方針策定委員会設置要綱」第5条の規定に基づき、委員長、副委員長の選出をお願いしたいと存じます。</p> <p>要綱では委員の互選となっておりますが、いかがいたしましょうか。</p>

<p>委員</p> <p>庶務課長</p>	<p>事務局に案がありましたら、お示しいただきたい。</p> <p>事務局案を申し上げます。策定委員会と同様に、委員長には、「平野委員」に、副委員長には「松岡委員」お願いしたいと存じますが、いかがでしょうか。</p> <p>【 異議なし 】</p>
<p>庶務課長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、委員長には平野委員、副委員長には松岡委員に、ご就任いただきたいと存じます。</p> <p>平野委員長には、設置要綱第5条第3項の規定により、会議の議長を務めていただくことになっておりますので、よろしくお願いたします。</p>
<p>議長</p>	<p>おはようございます。昨年は1年かけて10年後の大垣の教育をどうしていくのかということ、みなさまのお力添えでまとめることができました。その際、計画が絵に描いたもちにならないように、どう検証していくかが大事という認識のもと、本日の会議が開かれております。大事なことでございます。本日は第1回でございますので、説明のもと、みなさまのご意見をだしていただきたいと存じます。時間の許す限り、よろしくお願いたします。</p> <p>議事に入ります前に、本日の会議につきましては、個人情報など非公開とする案件に該当するような事案がないことから、会議は公開とさせていただきます。それでは、これより、議事に入ります。</p> <p>初めに、本推進委員会の趣旨について、事務局からご説明願います。</p>
<p>事務局</p>	<p>本委員会が取り組みます教育振興基本方針推進の趣旨及びスケジュールについて、ご説明申し上げます。昨年度、今後10年先を見据えた大垣市教育のあるべき姿と教育行政を進めるための「大垣市教育振興基本方針」を策定いたしました。本年度は、重点6分野のうち、5分野で振興計画を策定してまいります。基本方針の計画期間は10年間でしたが、本年度策定する分野別の振興計画は、計画期間を5年間とし、より具体的な施策を策定してまいります。基本方針と分野別の振興計画が一体となった教育行政の推進と、計画の進捗状況を確認するための評価方法を確立する目的で、本委員会を設置いたしました。</p> <p>基本方針の策定に引き続いた進行管理を目的としているため、昨年度の策定委員の皆様、引き続き委員をお願いしております。</p> <p>次に、本委員会のスケジュールでございますが、本日の第1回会議におきまして、委員委嘱、本委員会の趣旨、各分野別振興計画の進捗状況の確認、事務局から提示いたします評価方法の素案に対してご論議いただきます。第2回は10月を予定し、引き続き各分野別振興計画の進捗状況の確</p>

	<p>認及び評価方法について議論を深め、3月を予定しております第3回で評価方法を確立してまいりたいと思います。</p> <p>以上が本委員会の趣旨及びスケジュールでございます。委員の皆様にはご協力賜りますようお願い申し上げます。</p>
議 長	<p>ただいま、事務局から本推進委員会の趣旨について説明がありましたが、何かご質問、ご意見はございませんか。</p>
	<p>【質問なし】</p>
議 長	<p>次にお手元にお配りをいたしております、資料について、事務局から説明願います。</p>
事務局	<p>各分野別の振興計画のスケジュールについて、ご説明申し上げます。現在、学校教育、青少年健全育成、スポーツ振興、読書活動、文化振興の5分野で振興計画を策定しております。4月に市民公募委員を応募しまして、5月に策定委員会を設置いたしました。第1回の委員会の開催を5月から7月に行い、第2回、第3回の開催を経て教育委員会及び市議会に中間報告、その後パブリックコメントを実施し、最終の委員会を開催し、教育委員会及び市議会に結果報告を行い、本年度中の公表を予定しております。</p>
事務局	<p>第1回の委員会の開催結果について、事務局を担当している課から、ご説明申し上げます。それでは、学校教育振興計画からよろしく願います。</p> <p>(学校教育振興計画)</p> <p>6月1日に第1回学校教育振興計画策定委員会を開催いたしました。策定委員会では、基本方針をもとにして、たたき台として事務局から第1案を提案いたしました。基本方針をもとに、主要項目を基本目標 ～ に再構築しました。基本目標 は、「知・徳・体」の「知」に関わる部分。基本目標 は、「徳・体」に関わる部分。基本目標 は、ひとりひとりを大切にする教育、基本目標 は、地域、家庭、学校とのつながり、基本目標 は、それらを支える学校環境という観点です。</p> <p>学校で過去から現在にかけてすでに行われている施策を検証し、より具体的な教育施策を第2回の委員会で提案する予定でございます。</p>
事務局	<p>(スポーツ振興計画)</p> <p>スポーツ振興計画案について、ご説明申し上げます。この計画は、平成19年度に策定しました計画を元にしております。基本施策として、「生涯スポーツの振興」、「競技スポーツの振興」、「学校における体育・スポーツの充実」の3つをあげ、それを支えるものとして、「スポーツ環境の諸整備」という項目をあげております。今回のスポーツ振興計画策定のながれでございますが、平成12年に文部科学省において策定された、ス</p>

	<p>スポーツ振興基本方針に基づき、平成13年に大垣市の振興計画についてこの審議会から答申をいただき、その後、平成17年、平成18年には、県と国で振興計画の改訂がございました。これらの経緯をふまえ、大垣市第5次総合計画、大垣市教育振興基本方針に基づき、今回スポーツ振興計画を策定するものでございます。</p> <p>6月25日に行われました第1回スポーツ振興審議会でのご意見をふまえ、11月に予定しております第2回スポーツ振興審議会において審議していただく予定でございます。</p> <p>なお、青少年健全育成計画につきましては、7月21日に第1回策定委員会を開催する予定でございますので、その後改めて報告させていただきます。</p> <p>(読書活動推進計画)</p> <p>第1回大垣市読書活動推進計画を6月3日に開催いたしました。この計画は、図書館基本計画及び子どもの読書活動推進計画をあわせて策定するものでございます。第1回の策定委員会では、今後策定する内容について説明し、具体的な案については、第2回の策定委員会で提示させていただきたいと思っております。</p> <p>策定委員会での発言内容としましては、読書環境の整備が重要ではないかという意見。図書館と地区センターの関係における図書館の位置づけが不明確ではないかという指摘や、地区センターの本を充実してほしいという意見がでました。今後計画策定の中で明確にしていきたいと考えております。</p> <p>(文化振興計画)</p> <p>第1回大垣市文化振興計画策定委員会を5月31日に開催いたしました。第1回の策定委員会では、教育振興基本方針における文化振興分野の基本的な事項の説明、文化振興の現状について説明し、ご意見をいただきました。</p> <p>8月に予定しております第2回の策定委員会では、事務局から案を示し、議論を深めていきたいと考えております。</p>
事務局	<p>以上が各振興計画の開催報告でございます。続きまして、基本方針策定後の教育員会施策体系と評価方法の案について、ご説明申し上げます。</p> <p>まず、基本方針の上位計画である第五次総合計画に基づく行政評価について、ご説明申し上げます。</p> <p>第五次総合計画の施策体系は、6つの施策の大綱、16の施策の柱、48の基本施策、146のまちづくり施策、258の実施計画施策、1,237の事務事業からなり、大垣市全体の体系となっています。1,237の事務事業の中には、教育委員会関係の275事業が含まれています。</p> <p>事務事業及びまちづくり施策については自己評価を行っており、それを</p>
事務局	
事務局	

補完する目的で市民意向調査も実施しています。

また、第五次総合計画の進捗状況等についての審議を行う第三者機関として「大垣市行政改革推進審議会」を設置し、行政評価及び市民意向調査について報告しています。

平成21年度中に実施した事業に対する評価結果は、本年9月に報告する予定となっています。

また、教育委員会関係の行政評価については、庶務課のホームページで公表しています。

このように、教育委員会としては、第五次総合計画に基づく評価を行ってきましたが、昨年度、今後10年を見据えた大垣市教育振興基本方針が策定され、本年度は、分野別の振興計画の策定を進めています。今後は策定された振興計画が予定どおり進捗しているかを把握するために、基本方針及び分野別の振興計画に基づく評価が必要になります。

また、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、これまで以上に教育委員会の活動に対する点検、評価、公表が求められています。

基本方針策定後の教育委員会施策体系の案を示しています。

(1)基本方針として「ふれあい、学びあい、深めあう文教のまち大垣」をめざします。教育委員会としては、この基本方針にむけて、今後取組を進めてまいります。

(2)として、学校教育、生涯学習、青少年健全育成・家庭教育、図書館、生涯スポーツ、芸術文化・文化財の6つの重点目標を定めています。

(3)として、重点目標ごとに3～5項目を主要項目として定めています。ここまでの基本方針で定められているものです。

(4)、(5)は、分野別振興計画で策定する部分です。

(4)は、各分野の基本施策で、基本方針の主要項目に対応する部分で、各分野で3～6項目ほど策定します。

(5)は、各分野の具体的な施策で、基本施策ごとに3～5項目程度策定します。

(6)は、予算執行上の事業レベルで、第五次総合計画で自己評価の対象となっている事務事業と同様です。

評価の対象としては、教育委員会の活動全体を把握するため、基本方針で定められた主要項目を基に、分野別の振興計画で定められる基本施策としていきたいと考えています。

評価を行う上で、評価指標の設定が非常に重要となります。分野別の振興計画は、計画期間が5年間であり、具体的な施策及び取組による効果が求められます。施策を策定するうえでも、具体的にどうなりたいのかという目標を明確にし、その目標に対する達成度を示すものを指標として設定する必要があります。

指標の設定については、施策の目標につながる部分ですので、今後の計画策定と同時に検討してまいります。

<p>議 長</p>	<p>評価シートのご案内についてご説明申し上げます。基本方針の重点目標、主要項目。分野別振興計画の基本施策、主要施策を記入のうえ、施策に対する具体的な取組の記述、現状に対する課題を踏まえた今後の事業計画を記述するようになっていきます。成果指標としては複数設定し、特定の指標の結果で、評価結果が左右されないような配慮をするものとします。最後に自己評価を4段階で行います。その他、基本方針の主要項目別の指標を例示してございます。今後評価指標については検討し、当委員会でも協議をしてみたいと考えております。</p> <p>以上、分野別振興計画のスケジュールと教育委員会施策体系及び評価方法(案)についてご説明申し上げます。委員の皆様には、ご協力賜りますよう、お願い申し上げます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>10年計画で5年を1つの区切りとして進めていくということです。重点としては6つの分野を作ったが、今日のところは5つが動いています。それぞれの策定委員会には、本日出席している各委員がそれぞれの専門分野を生かして委員として出席をしています。後ほど、出席していただいた委員会についての意見、他の分野のことも結構ですので、ご意見をいただきたいと思えます。</p> <p>ただ、問題は6つの分野があったわけです。重点目標として、学校教育の振興、社会教育・生涯学習の振興、青少年健全育成・家庭教育の振興、図書館の振興、生涯スポーツの振興、芸術文化・文化財の振興の6つの分野があります。6つの分野のうち、5つについては策定の活動をしています。のこっているのは社会教育です。公民館が廃止になって、地区センターがその活動の肩代わりをしていく過渡期で、どこが主体的に策定をしていくのかははっきりしていないのではないのでしょうか。どこが主体となるのかをはっきりさせて、社会教育は重要な分野ですので、スタートをきっていただきたい。一番遅れているのが残念です。社会教育的なことを市長部局がするのは結構ですが、教育委員会が社会教育にめをつぶることは、法的に考えても許されないのではないのでしょうか。どこが主体となるかは別にしても、教育委員会が関わっていかねばなりません。</p> <p>各分野の策定委員会に委員の皆さんが出席しているので、ご意見があればお願いします。</p>
<p>委 員</p>	<p>文化振興の策定委員会では、文化施設をもっとアピールするといいいとか、観光と文化財保存は相反するものだという意見がでました。また、現在拠点となる施設がないので、大垣まるごとミュージアム構想について事務局から説明がありました。</p> <p>私が今一番気になっていることは、今後青少年の会議が開かれる予定ですが、子どもと性という問題です。今はインターネットが発達して、小学校5,6年生から、性に対して関心をもちだすが、教育委員会として、こ</p>

	<p>の問題にどのように取り組むかが気になっている。家庭の人もインターネットを使っていることに気づかないことが多い。勉強も手につかないし、スポーツもしたくないということになりうる。このような問題についての計画策定をどうするのか。</p>
議 長	<p>重要なことを言われました。分野別で整理されているが、今のようどこにでも関連する問題は、だれがするのかということです。大事なところがすり抜けているのではないかというご指摘です。</p>
委 員	<p>学校の中では小学校の高学年から保健分野で性に関する教育をしています。大垣市においては、昔になります。性に関する指導の教育セミナーができていて、それに基づいて指導をしてきている。どこまで指導するかは難しい。場合によっては先進的に取り組んでいる先生はいる。情報に関しては追いついていない部分もある。それぞれの学校では危機感を持って取り組んでいる。振興計画に入れることについてはどうかと思う部分もあるが、もちろん取り組まなければならない大きな課題ではあります。ただし、学校だけで解決する問題ではない。</p>
議 長	<p>子どもは家庭の中で育つので、保護者がどういう認識をもっているか。保護者を教育するのはだれか。その分野が社会教育や、生涯学習の分野になっていくのではないのでしょうか。</p>
委 員	<p>読書と文化と両方で委員をしています。文化は形があってないようなもので、心の問題だと思います。行政としてできることは、環境整備をしていくことしかないのではないのでしょうか。</p> <p>地区センターの問題について、両方の分野で意見がでました。公民館が地区センターになることで、混乱している部分があり、文化振興の分野では、大垣市全体の文化活動のグループがあったときに、地区センターを拠点にしようとしても地区優先になり、使いにくい。読書の分野では、地区センターに本を置くことは今でもしているが、扱いははっきりせず、本を置いてあるだけになっています。地区センターの問題は社会教育全体に関わってきます。今後考えていく大きな課題ではないかと思います。</p> <p>性の問題については、学校教育のなかでは難しい。家庭教育についても、それぞれの家庭が異なるので一つのやり方で対応することは難しい。読書が大事ではないか。本を読むことで、実体験ではない、本の中での体験をすることで親も子どもも道徳的な価値観を考えていくのではないのでしょうか。</p>
議 長	<p>図書館は、指定管理への方向性はあるのですか。</p>
事務局	<p>いいえ、いまのところそのような動きはございません。</p>

委員	<p>体育関係の競技は、平成24年度の国体に向けて活動をしています。スポーツの分野でいつも出る話題は、指導者の育成と、子どもの運動の実施率をいかに高めるかという話です。高齢者のスポーツについては、老人クラブ連合会の活動がさかんで、自分の健康は自分で守らないといけないという意識ができてきています。スポーツ少年団の加入率は26%ほど。なかなか30%に達しない。民間のスポーツクラブも含めて体育振興を考えていくべきでは。</p>
議長	<p>指標の例としてスポーツ指導者の登録数があげてあるが、登録数でいいのか。育成のためのなにかをしたかが重要ではないでしょうか。</p>
委員	<p>青少年は0歳から20歳まで。子どもは大人がどうするかで決まります。いい家庭であればいい子が育つ。大人をどこが指導するのか。ある学校で女の先生がへそが見えるような服装で授業をしていた。誰が管理をするのか。補導は蛇口のこわれた水道の水をすくっているようなもの。蛇口を直さないと意味が無い。家庭の問題になってきます。大人に訴えかけていく必要があるのではないのでしょうか。</p>
議長	<p>家庭教育について、もう少し踏み込んだ指標がいるのではないか。家庭教育、社会教育が抜けているのではないか。</p>
委員	<p>ジャージで出勤する先生がいる。近所の人にあの先生は一日中ジャージを着ていると思われる。出勤するときと、帰宅するときは背広を着るべきだ。学校を出たら教員の代表としての意識が必要。モラルに対する考え方が世代によって違う。大学の先生はラフな格好をしている人が多いが、自由を履き違えているのではないか。</p>
委員	<p>サッカー日本代表の選手が母校に来たときに子どもたちが騒ぐ。選手の真茶な髪がかっこいいと思われる。子どもに悪い影響を与えないかが心配です。</p>
委員	<p>教員養成の際に服装やモラルなどの教育はあるのですか。</p>
委員	<p>大学では、教育実習の時にきちんとした服装をしていないと実習を受けさせない。実習中に問題があれば、途中でやめさせています。</p>
委員	<p>実習生については、学校に打ち合わせに来たときにきちんと指導をしています。初任者指導が一年あるので、その中で指導をしています。</p>
委員	<p>各学校をまわって、先生が先生らしい格好をしている学校は、全体的に</p>

委員	<p>いい学校。子どもたちの態度もきちんとしています。</p> <p>子どもが高校生になって、高校生は自由な感覚があって、服装のみだれなどが心配。スポーツの部活に入って、充実している。他に遊ぶ時間がないのでいいのでは。ある校長先生が、地域の人は、学校の批判をしがちだが、学校に来てもらって、いいところをみてほしいという話をしていた。わたしも機会があれば学校に訪れて、協力していきたいと思います。</p>
委員	<p>いろいろな分野で学校は関わっている。学校は家庭、地域と切り離せない。個々の計画がばらばらにならないよう、整理してすっきりできないか。大垣市の教育はレベルが高いと考えています。いいところは認めながら、足りないところを補っていく。</p> <p>教育の分野を数字で評価するのは慎重に検討すべきではないか。行政評価は数値で表すことができるが、教育については、人間相手であり、指導したことがすぐ結果に結びつかないことが多い。</p>
委員	<p>学校教育の分野は、数的な評価はなじまない。数字が一人歩きする恐れがある。評価のありかたを、具体的に考えていく必要がある。</p>
委員	<p>簡単な数字の評価は危険ではないかと思います。</p>
委員	<p>高齢者スポーツは、自由に活動できるといい。</p>
事務局	<p>幼保小中を、大垣では取り組んでいる。つなぎを考えていかないといけない。</p>
事務局	<p>職場で職員が歯磨きをしながらしゃべっている。本人には違和感がない。へそが見える服装の先生もそうだが、それが普通のこととして育ってきていることを念頭に置く必要があるのでは。個人主義がずっと続いている。</p>
事務局	<p>きまりはきまりとして、学校でやっていかないといけない。5年計画の中で、すぐやらなければならない課題と、長期的な課題を区別する必要があります。学校教育、社会教育、青少年健全育成は密接に関わっています。性のことをどこで考えるか。担当者が集まってどうするか検討する必要があるのではないかと。スポーツの分野もスポーツ振興と学校教育との関係がある。</p> <p>評価について、数で示すことが世間から求められています。中身をきちんと示す必要があります。実効性のあるものにしていく工夫が必要。</p>
議長	<p>子どもが変わるには親が変わらないといけない。親をどこで教育するか。大垣市の教育振興は、大垣市の将来の人づくりになります。大人も、子ど</p>

事務局	<p>もも、市長部局と連携して、片手落ちにならないようにしなければなりません。策定委員会の中で、幅広く意見をきくとよいのではないかと思います。</p> <p>いろいろご意見がでましたが、時間もせまっておりますので、「第1回大垣市教育振興基本方針推進委員会」を終了いたします。</p> <p>委員の皆様には、大垣市教育への熱い思いをお聞かせいただき、ありがとうございました。</p> <p>次回の開催日は10月を予定しております。</p>
-----	--